



日本共産党区議会議員

こんにちは  
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20 - 1  
足立区役所 電話3880 - 5111 (内線4650 ~ 4654)  
日本共産党区議団 直通3880 - 5770

<http://www5.famille.ne.jp/~k-itou/index.html>



10月2日、区長に1296項目の来年度予算要望書を提出

# 区民の願い 次々と前進

第3回定例会も半ばを迎えました。10月2日の予算委員会では補正予算の審議が行われ、日本共産党足立区議団が以前からくり返し要望していた施策が数々実現することが明らかになりました。

## 街場の中小企業や小売店 雇用を応援します

### 緊急融資の期間延長実現

6月から行った実質金利ゼロの緊急融資について、9月25日区長に対し、期間延長を緊急要望を提出したのに続き、予算委員会でも質問、

質問 産業環境委員会できり返し緊急融資の拡充と期間延長を要求してきた。本会議でもそのための「補正を組む」と答弁していたが、今回の補正には提案されていない。12月の補正で考えているのか。

12月の補正で実施していくことを明らかにしました。

### 雇用・生活総合相談窓口も常設

さらに、「雇用・生活総合相談事業として」、わが党がくり返し要望していた雇用・生活相談窓口の常設も「2年から3年」の期間、実現へ。

### プレミアム付区内共通商品券

また、私たちが6月の議会で要求したプレミアム付区内共通商品券も実施が決定。商店街(コンビニなども可)などで使える区内共通商品券に区が10%のプレミアムをつけ、1万円の商品券で1万1千円の買い物ができます。販売開始は11月22日です。

### 公園遊具の予算増

落下事故以降、各公園の危険な湯具が撤去されたままの場所が多く、アンケートでも多くの要望があり、くり返し要求。ついに予算増に

### 若年層(20代30代) 区民意識調査実施

区の施策に活かしていくために、若年層の意識などを調査することが決定

### 無料の乳がん・子宮ガン健診

国の補正予算ですが、区で予算化して初めて実施できます。日本共産党は、対象者全員が受けられる体制整備と来年以降の継続を求めました。

### 区管住宅長寿延命化計画

毎年の我が党の予算修正案での指摘が実り、改善  
不登校対策 登校支援員(44人 28人)、スクールカウンセラー(小学校23校に、週1回増)

### 退職により住居を喪失するおそれのある方へ

6ヶ月間住宅手当を支給(10月26日から実施予定)

### 障がい者の通所バスの運行日数

226日 240日に増 無料を継続

### 特別支援学級の増

学級のない第3ブロック(伊興・西新井地域)の学校に設置



決算特別委員会で質問する

伊藤和彦議員(10月13日)

「火災警報器設置は全世帯を視野に設置を。入札の改善、小規模工事登録制度の発注一元化で支援を。東京芸術センター、竹ノ塚公共駐車場は特定業者にいたれり、つくせりと厳しく指摘し改善を求めました。



# 「えっ!!」子ども重視」といいながら 山中湖林間学園もつぶすの？

近藤区長は「子ども施策」を重点に掲げ、特に豊かな体験などを重視すると言っていました。しかし「山中湖林間学園」も廃止し、学校統廃合で本木東小学校もつぶす意向を表明しています。

また、急増する保育園の待機児対策も派手に宣伝していますが、来年度以降の認可保育園の増設はなく、抜本的解決に乗り出さず、定員をふやす詰めこみや、保育ママ・認証保育所などの増設で乗り切ろうとしています。「子ども重視」とは逆行しているのではないのでしょうか。

今回は山中湖林間学園についてお知らせします。

山中湖林間学園の廃止及び宿泊行事の見直しについて  
(教育委員会作成報告資料より)

小中学校宿泊行事については、自然体験に加え、田植えなどの農業体験や民泊泊を取り入れた地元の方々との直接的な交流体験を魚沼市で実施する。よって、老朽化の著しい山中湖林間学園は廃止することとしたので報告する。

学年	現在の宿泊行事	見直し後の宿泊行事
4年生	鋸南自然教室	新たな交流・体験学習
5年生	夏季林間(山中湖)または夏季臨海(鋸南)	鋸南自然教室
6年生	日光自然教室	日光自然教室
中1又は中2	山中湖自然教室	魚沼自然教室

1 山中湖林間学園の廃止  
昭和50年の開設以来、施設の老朽化が激しく、改修には15億円程度の改修費が必要となる。標高の高さから冬季は寒さが厳しく宿泊行事が困難なため稼働期間も半年程度ということをふまえ、廃止する。

2 廃止時期  
22年3月31日  
(廃止後は解体する)

日帰り帝京科学大学の遠足やつくば市の自然科学体験

魚沼市の民宿などに分かれて宿泊し、田植えなどの農業体験をさせるという



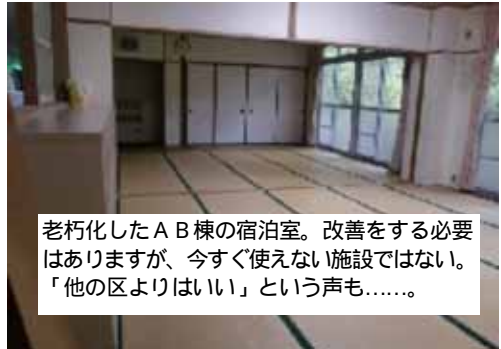
新しいC棟にある広い浴室。男女それぞれ3室。計6室ある



新しく建てたC棟。一般区民にも開放し、大変な人気で「当たらない」との苦情も。



C棟と一緒に建てられた体育館。学校の体育館よりはるかに立派で新しい。バスケ・卓球などのスポーツはもちろん、映画を上映できる施設もある。



老朽化したA B棟の宿泊室。改善をする必要はありますが、今すぐ使えない施設ではない。「他の区よりはいい」という声も……。

日本共産党区議団は10月5日現地調査に行きました

日本共産党はこう考えます  
区民の貴重な財産は有効活用を

教育委員会が上から結論を押しつけるのではなく、子どもや現場の声を重視を。代替とする魚沼の民泊分泊(農業体験)は否定するのではなく、どちらも共存させるべき

山中湖のC棟は新しく、A B棟は老朽化しているが、改修・改築をし、区民の財産として有効に活用すべき。

機密性や暖房機能も高め、冬季も使えるように利用日数も増やして、一般区民のスポーツ合宿など幅広く使えるように(今はGWや連休のみ)

学園の近くには「富士山レーダー館」があり、富士山のこのみならず、気象や地学的な体験を楽しみながら学べるなど、まさに、学園は体験学習にはなくてはならない施設である。

A B棟は確かに古く、機密性が低いいためか、同じ敷地にあっても寒いくらいでした。長年の自然教室としての蓄積があり、体調不良の子どもの体制も整っていました。集団生活を体験できる貴重な場です。「日本一の富士山」「豊かな自然・富士五湖」「楽しみながら地学・気象を学べる富士山レーダー館」「夜も体育館でスポーツレク・講堂でキャンドルサービス・きもだめしなど様々な体験」など盛り沢山。